

第13回 全国大会・研究発表大会 ベストペーパー賞 受賞記

博士（工学）西野 嘉之

このたびは、ベストペーパー賞に選考頂き、誠にありがとうございます。
大変名誉なことであり光栄に思います。審査員の方々はじめ、学会関係者の方々、大会参加者の方々に深く感謝致します。

今大会は、「新たな価値を生み出す情報システムの潮流」というテーマであり、「有価証券報告書の類似度による企業評価」と、「DB設計を行わないシステム開発」の2本を投稿させて頂きました。審査員の先生から「両方の論文ともすばらしかったと思いますが、より将来性のある論文を選びました。」とコメントを頂きました。「DB設計を行わないシステム開発」は、エンドユーザが自ら画面を設計するとシステムが完成する手法の提案であり、たった2つのテーブルだけで実現していることが高く評価頂けたのだと思っております。本研究の成果は、情報システム学会の先人の研究者による情報資源管理（IRM）や概念帳票といった研究の上に成り立っております。

人間中心の情報システムとは、人間の思考プロセスに沿ってシステム構築が行われることが望ましいと考えております。さらに構築された情報システムは、人間に最適なタイミングで必要最小限の情報を提示することができるシステムであるべきだと考えております。

今回の受賞が、新たな情報システムの価値を創造するきっかけとなれば幸いです。また、これからも既存の情報システムに対する違和感を大切に、さらに研究を行っていきたいと思います。

ベストペーパー賞に選んで頂きありがとうございました。改めて御礼申し上げたいと思います。